

## 安心な毎日を送るために、安全な地域を共に目指す



茨城県防犯設備協会 会長 佐藤 平八郎

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナ感染症が2類から5類に移行して、初めてとなる新年を迎えること心から嬉しく思います。コロナ禍からの新たな常識と様式の中、日々の生活も大きく変化した部分もあり、防犯や警備においても新しい当たり前が構築されたようにも思います。我々の業界においても時代に即した新たな目線での防犯のアドバイスや防犯構築が必須になっております。

### ◆茨城県防犯設備協会設立

茨城県防犯設備協会の設立は、2023年2月に全国の地域協会の44番目として設立することとなりました。設立に際して、日本防犯設備協会の皆様には多大なるご尽力を賜りましたこと、この場でも心から御礼申し上げます。設立総会の折には、茨城県県民生活部長はじめ、茨城県警察本部生活安全部長や日本防犯設備協会の片岡代表はじめ多くのご来賓にご臨席いただき、企業・個人会員20社にて無事すべての議案が審議可決することができました。その際の発起人代表挨拶でも、お話をさせていただきましたが、本協会の目的として総合防犯設備士と防犯設備士が総合的な防犯知識を有し、公的な立場を示しながら防犯機器の適正運用や横断的に防犯に関する各種団体と連携して、地域防犯に全力で寄与していくと確信しております。その為にこれからもまずは会員の拡充を図り、地域に「茨城県防犯設備協会」を認知していただくよう努力してまいります。



### ◆茨城県防犯設備協会活動

設立初年度の茨城県防犯設備協会の活動として、理事が協議をしてまずはじめに平間会長にお世話になりましたが、千葉県防犯設備協会様にお邪魔させていただきこれまでの取り組みを伺いながらの勉強会を行いました。その際に地域住民の方と地域ぐるみでの防犯診断の重要性と防犯優良マンション制度などについて、実際の取り組みをもとに多くのことを学ばせていただきました。

また、10月には会員向け研修会を開催し、会員の研修と親睦を行い、今後の茨城県防犯設備協会の取り組みを議論させていただきました。当日は、茨城県警察本部生活安全総務課の松田様から茨城県の現在の犯罪情勢をはじめ、今後起こり得るだろう防犯の課題などを拝聴いたしました。やはり、地域特有の犯罪などもあり、茨城県としては車両盗難と太陽光発電所の盗難に関して、我々としても新たな防犯対策の提案であったり、犯罪の抑止に取り組む方法なども考える機会となりました。第2部として、日

日本防犯設備協会の特別講師でもある三澤様から防犯カメラの機能と個人情報の取扱いについて講話いただきました。これだけ防犯カメラが地域の中に根付いてきている中で、個人情報保護の観点からの講話となりました。我々の会員の中にも防犯カメラの設置を行っている企業もありますが、個人情報保護の重要性なども改めて気づかせていただきました。その後、講師を交えての懇親会も行うことができ、これから茨城県防犯設備協会の発展を期待できる懇親会をすることができました。そして、先日は神戸で行われました、日本防犯設備協会の全国大会に参加させていただき、各地域協会の皆様とも情報交換を行ってさまざまな取り組みについて学ばせていただきました。その情報も会員と共有させていただきました。



#### ◆からの活動計画

からの活動計画として、柱を3つ考えております。一つ目は、各種団体と連携した地域防犯啓蒙活動の実施です。やはり、犯罪が起こらないように啓蒙することは何よりも重要であります。各種団体もそれぞれ防犯の啓蒙活動を行っておりますが、我々は防犯設備士としての知見を活かしての防犯啓蒙活動を行いたいと思います。二つ目は、会員拡充です。先ほどの防犯啓蒙活動も一人でも多くの会員とおこなえばそれだけ広がりや浸透は早くなると考えております。最後にやはり、「各種防犯優良認定制度」の構築です。茨城県の犯罪の特殊性に合わせたものも並行して考えていきたいと思いますが、まずは各地域協会の皆様が取り組んでおられます、マンションや住宅からでもいいので取り組んでまいります。先日の日本防犯設備協会様の全国大会で発表がありました、全国共通化した防犯優良認定の取り組みであったり、認定シールなどもぜひ取り組んでまいりたいと思います。

最後に、まだ設立後1年を経過していない地域協会になります。何卒皆様のご指導ご鞭撻いただきながら、各種団体とも連携して茨城県の安全に寄与できる皆様のカウンターパートとなるべく努力してまいります。